

平成30年12月20日

日本繊維産業連盟

責任ある繊維サプライチェーンのための デュー・デリジェンス・セミナー開催報告

6月19日に公表された「繊維産業における外国人技能実習の適正な実施等のための取組」にある【業界団体による取組】の一つとして、「日本繊維産業連盟は、技能実習の問題にとどまらず、OECD ガイダンスに関する説明会を開催し、その後、日本の具体的対応策について、本格的に検討を行い、年内に結論を得る。」という内容を受け、本セミナーを開催した。当日は、経済産業省の後援と外務省の協力の下、ご来賓を代表して経済産業省 大内審議官より御挨拶があった。

記

1. 日時：2018年10月22日（月）13:30～16:10

2. 場所：東海大学校友会館（富士の間）

3. 参加者数：70名

4. セミナー内容

（1）「OECD 多国籍企業行動指針」と「日本NCP」

講演者：外務省経済局経済協力開発機構室 首席事務官 川口正樹氏

内容：① 経済協力開発機構（OECD）とは？

（OECD の誕生、目的と主な活動、背景など）

② 「OECD 多国籍企業行動指針」とは？ 概要説明

③ 行動指針において期待される企業の責任とは？

④ 日本 NCP (National Contact Point) : 日本 NCP の活動など紹介

（2）「OECD ガイドラインの説明と OECD の RBC 普及啓蒙活動の現状について」

RBC: Responsible Business Conduct (責任ある企業行動)

講演者：Policy Analyst in the Responsible Business Conduct team at the

OECD (Paris) Ms. Dorothy LOVELL

内容：① OECD のプロセス、目的、対象

② 責任あるサプライチェーンの推進者（政治、産業界と消費者、法規制）

③ OECD と他の国際基準との整合性、デュー・デリジェンス・フレームワーク

④ OECD がカバーするリスク・エリア（12エリア）

- ⑤ デュー・デリジェンスのプロセス（第1ステップ～第6ステップ）
- ⑥ 意義あるステークホルダーとの協働
- ⑦ DUE DILIGENCE FORUM、OECD-CNTAC MOU の紹介
（特に OECD Garment Forum Paris, France 13-14 February 2019 の紹介を強調）

（3）「アシックスのサステナビリティ活動について」

講演者：（株）アシックス CSR 統括部 CSR・サステナビリティ部長 吉本譲二氏

内容：①アシックスの概要

②サステナビリティの潮流

- ・世界が持続可能な社会へ大きな変革を目指している。
- ・企業には積極的な取り組みが求められている。
- ・消費者のサステナビリティへの関心が高まっている。
- ・自らのサステナビリティ活動を、より対外的に示していく必要性が高まっている

③ アシックスのサステナビリティ活動概要

- ・サプライチェーンでの労働・人権
 - * 委託先工場との取組
 - * 契約、改善、監査項目、評価
 - * 監査（自社監査、委託監査、ベターワークの監査）、監査指摘事項の事例紹介
 - * セルフ・アセスメント（Higg Index、自社）

④ 環境サステナビリティ

CO2削減に向けた取り組み、危険化学物質排除の取り組み、

⑤ 人々と社会への貢献（事例）

- ・スポーツを通じて東日本大震災の復興を支援、
- ・スポーツを通して、恵まれない状況下の子ども達が、前向きに生きられるよう支援する国際NPO、
- ・ランニングを通して、イギリスのホームレスの若者の自立を支援する団体支援

以 上